

<b>タイトル (活動概要)</b>	<b>32 私を見つけて！</b>	<b>アプローチ (関連する力)</b>		<b>「仲間づくり」 ⑥ ⑮</b>	
<b>タイミング (実施時期)</b>	4月	<b>活動 場所</b>	教室	<b>所要 時間</b>	5分
<b>対象学年</b>	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	<b>対象 規模</b>	学級	<b>活動 場面</b>	朝の会
<b>活動の ねらい</b>	<p>〈背景〉がまん体験の不足から、人の話を聴いたり話に合わせて質問をしたりするのが苦手な子どもがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な質問をすると、答えに近づくことを経験することを通して、相手の話に合わせて質問する力をつける</li> <li>・話を聴くことで答えが見つかることをゲームの形で楽しんで経験することにより、話を聴く力を育てる</li> </ul>				
<b>準備</b>					
<b>学 習 ・ 活 動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>		<b>資料等</b>	
1 導入（最初の活動のときだけ）					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>上手に質問して、隠れたところを見つけましょう。</p> </div>					
2 主活動 ○やり方を知る					
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>想像の小人になって、かくれんぼをします。この教室のどこかに隠れますので、どこに隠れたか質問をしてあててください</p> </div>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が出題者となって「私を見つけて！」をする 例えば「〇〇さんの筆箱の中」を答えにして、「そこは狭いですか？」「そこは暗いですか？」「教室の前の方ですか？」などの質問が有効なことを経験する</li> <li>・出題者を決めて「私を見つけて！」をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の一回は、教師が出題者となり、どんな質問をすれば答えが見つかりやすいか経験するとよい</li> <li>・2回目からは、希望者や日直などに出題をさせる</li> <li>・実態に応じて、全員が出題を経験するようにするかどうか判断する</li> </ul>			
3 ふり返り ・答えに近づく的確な質問をした子をほめ、話の内容をよく聴いて質問を考えることの大切さを伝える					
<b>配慮事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月最初のころには、話を聴くことが苦手な子の参加を促すために、教師の例題を「その子の筆箱のなか」などにするなど工夫するとい</li> <li>・聴いていないで参加できない子がいても、そこを注意することよりも、ゲーム自体を楽しく行うことで、だんだんと参加したくなるような雰囲気をつくることを優先する</li> <li>・ゲームの方法がわかったら、グループ単位でとりくむこともできる</li> </ul>				